

新地方創生に関連した緊急的取組み

資料2

(地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金活用事業)

1 目的

現下の経済情勢等を踏まえ、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、地域における消費喚起を図る取組みを実施する（地域消費喚起・生活支援型）。また、まち・ひと・しごと創生法に基づいた地方版総合戦略の策定に先行して、人口減少が始まっている地域に重点を置いた取組みや先導的な地域振興策に取り組むとともに、しごとづくりや少子化対策など全県的な展開が必要な取組みを行う（地方創生先行型）。

2 補正予算額 45億7,932万円

3 事業内容

(1) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）の活用 36億4,000万円

区分	事業名及び事業概要	補正予算額
ア	観光消費拡大・かながわ産品消費拡大等の取組み	36億4,000万円
	【ふるさと旅行券・ふるさと名物商品】	
	①観光消費拡大事業費（ふるさと旅行券）	27億円
	神奈川ならではの魅力ある旅行商品や、ふるさと旅行券・お楽しみクーポンを割引価格で販売する。	
	②かながわ産品消費拡大事業費（ふるさと名物商品）	6億円
	オンラインショッピングサイトの開設や、カタログによる販売体制を整えることにより、県産品を割引価格で販売する。	
	【未病市場創出促進事業】	
	③未病産業等プロジェクト推進事業費	3億4,000万円
	未病関連の商品やサービスを割引価格で販売することにより、当該商品等に関する消費者参加型モニター調査などを実施する。	

(2) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の活用 9億3,932万円

【エリア重点化等】

区分	主な事業名及び事業概要	補正予算額
イ	県西地域の活性化（県西地域活性化プロジェクト）	2億448万円
	【未病がわかる】	
	①「未病いやしの里センター（仮称）」の設置推進	2,100万円
	「未病いやしの里センター（仮称）」の設置に向けて、民間事業者等から提案を募集し、最優秀提案について、計画策定を行う経費の一部を負担する。	
	②未病いやしの里づくり推進費	600万円
	「未病いやしの里の駅」のPRやネットワークの拡充を図るとともに、未病を治す「食」の提供を行うレストラン等に対して、メニュー開発等の支援を行う。	
	【未病を治す】	
	③県西地域活性化プロジェクト推進交付金	7,500万円
	「県西地域活性化プロジェクト」を推進するため、先導的な役割を果たすと認められる取組みを支援する。	
	④県西地域未病資源活用促進事業費	1,850万円
	農産物のブランド創出や地域内の流通ネットワークの構築、薬用植物を活用したレシピの開発、手軽に農作業を体験するためのサポート体制を整えた市民農園の整備等を推進する。	
	【未病でつなぐ地域の活性化】	
	⑤県西地域サイクリングエリア等構築事業費	6,300万円
	観光客の回遊性を高めるため、コミュニティサイクルの導入やウォーキングコースとの一体的なネットワークの形成を図る。	
	⑥ME-BYOタウン形成促進事業費	50万円
	「ME-BYOタウン・プロジェクト」の提案を募集し、選定するための審査会などを開催する。	

ウ	三浦半島地域の活性化（三浦半島広域観光推進事業・かながわシープロジェクト）	1億4,600万円
	①三浦半島広域観光推進事業費 三浦半島の周遊や「自転車半島宣言」を支援するため、市町と連携・協力し、マイルストーンの設置や広域観光情報提供などの環境整備を行う。	9,000万円
	②かながわシープロジェクトの推進 神奈川の海の魅力を発信する「かながわシープロジェクト」の取組みを、三浦半島地域から重点的に展開し、マリンスポーツを柱にした地域活性化のモデルづくりを行う。	5,600万円
エ	新たな観光の核づくりによる地域活性化	7,600万円
	①新たな観光の核づくり促進交付金 「新たな観光の核づくり」の認定地域などの活性化を促進するにあたり、先導的な役割を果たすと認められる事業に助成する。	7,500万円
オ	さがみロボット産業特区の推進による生活支援ロボットの販路拡大等	6,000万円
	①生活支援ロボット開発促進事業費 早期の立ち上げが望まれるテーマにおける生活支援ロボット共同開発プロジェクトの推進を図る。	1,007万円
	②生活支援ロボット普及・定着促進費 介護福祉施設等に向いて施設職員等にロボットと実際に触れ合う機会を提供するなど、生活支援ロボットの普及浸透を図る。	1,290万円
カ	ヘルスケア・ニューフロンティアの推進に向けた効果的なプロモーションの実施	3,000万円
	①未病産業等普及啓発事業費 「未病(ME-BYO)」の概念やヘルスケア・ニューフロンティアの取組みを国内外に発信するため、海外メディアを本県に招聘し、視察・取材イベント等を実施する。	3,000万円
キ	その他	7,300万円
	①大学連携事業費 大学等から地域の魅力アップに資する事業の提案を募集し、交流人口の増加や定住促進を図る。	3,800万円
小計		5億8,948万円

【全県的な展開】

区分	主な事業名及び事業概要	補正予算額
ク	多様な就業機会の創出	1億6,500万円
	①かながわしごと支援センター(仮称)事業費 しごとやくらしの情報の一元的な収集・発信と職業紹介を実施するワンストップセンターを設置し、県内への移住・定住を図る。	1億1,700万円
	②移住促進事業費 県内各地域の魅力を県外の方々に広く発信し、地域ごとのライフスタイルを紹介することにより、県内への移住を促す。	2,500万円
ケ	観光振興等	9,384万円
	①外国人観光客誘致促進事業費 海外に向けた観光プロモーション・情報発信を強化するとともに、外国人観光客受入れのための環境整備を促進する。	7,000万円
	②商店街免税販売推進事業費 免税手続きのワンストップ化を目指す商店街を支援し、商店街における免税販売の推進を図る。	1,100万円
コ	少子化対策 ～結婚・妊娠・出産育児への切れ目ない支援～	7,100万円
	①結婚支援事業費 結婚を希望する若者等をターゲットに、市町村等と連携した出会いのバスツアーの実施等、全県的な結婚支援の機運を醸成する。	1,900万円
	②妊娠・出産支援事業費 妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発や相談体制を整備する。	3,200万円
	③ライフキャリア教育推進事業費 若年層を対象に妊娠適齢期や仕事と育児の両立など様々な情報を提供し、自分らしいライフプランをデザインする力を育成する。	2,000万円
サ	総合戦略の策定	2,000万円
	①地方創生総合戦略策定費 まち・ひと・しごと創生に向けた効果的な施策をとりまとめる地方版総合戦略等を策定する。	2,000万円
小計		3億4,984万円

※ 主な事業を記載しているため、その合計額と各項目の金額は、符合しないことがある。

観光消費拡大・かながわ産品消費拡大等の取組み

補正予算額 36億4,000万円

1 観光消費拡大事業費(ふるさと旅行券)

(1) 目的

本県の観光振興と地域の活性化を実現するため、割引価格で旅行商品を販売することにより、本県の旅行商品の消費を喚起する。

(2) 補正予算額 27億円

(3) 事業内容

ア ツアー商品の企画・販売

神奈川ならではの魅力ある旅行商品を企画し、旅行代金を半額にして販売する。

イ 旅行券の発行・販売

県内の旅館・ホテルで使用可能な「ふるさと旅行券」について、額面10,000円の券を5,000円で販売する。

ウ お楽しみクーポンの発行・販売

「ふるさと旅行券」の使用可能な旅館・ホテルを通じて 額面2,500円の「お楽しみクーポン」を3割引で販売し、地元のお土産店や食事、オプションツアー等を提供する。

エ プロモーションの実施

全国的なPR活動を行い、神奈川の魅力をアピールする。

2 かながわ産品消費拡大事業費(ふるさと名物商品)

(1) 目的

県産品の振興と地域の活性化を実現するため、割引価格で「かながわの名産100選」などの本県の名産品等を販売することにより、消費を喚起する。

(2) 補正予算額 6億円

(3) 事業内容

オンラインショッピングサイト等での県産品の販売

県産品オンラインショッピングサイトを開設し、期間限定割引(3割引以上)で県産品を販売する。併せて、東京・神奈川をはじめ全国のデパート等と連携し、県産品を掲載したカタログによる販売体制を整える。

3 未病産業等プロジェクト推進事業費

(1) 目的

未病市場の創出・拡大を図るため、割引価格で未病関連の商品等を販売し、当該商品等に関する消費者参加型モニター調査などを実施することにより、消費を喚起する。

(2) 補正予算額 3億4,000万円

(3) 事業内容

- 健康データの提供を条件に未病関連の商品やサービスを割引価格で販売し、当該商品等に関する消費者参加型モニター調査を実施する。
- 提供を受けた健康データを分析し、未病の科学的評価に向けた検討を行うとともに、販路開拓に向けた消費者モニターへのニーズ調査などを実施する。

※未病関連商品等は、体の状態を捕捉するウェアラブルデバイスや、スポーツクラブでのメタボリックシンドローム等を改善するためプログラムなどを想定している。

問い合わせ先

【1】	産業労働局産業・観光部観光課 観光プロモーション担当課長	福井	電話 045-210-5762
【2】	産業労働局産業・観光部観光課 かながわブランド戦略担当課長	高林	電話 045-210-4015
【3】	ヘルスケア・ニューフロンティア推進局 特区連携担当課長	今部	電話 045-210-3281

三浦半島地域の活性化 (三浦半島広域観光推進事業・かながわシープロジェクト)

1 目的

三浦半島地域の4市1町の首長で構成する三浦半島サミットが推進する三浦半島の周遊や「自転車半島宣言」を支援するため、市町と連携・協力し、サイクリストのためのマイルストーンの設置や広域観光情報提供などの環境を整備することにより、三浦半島の魅力を高め、交流人口の増加を図る。

併せて、神奈川の海の魅力を発信する「かながわシープロジェクト」の取組みを、まずは三浦半島地域で重点的に展開し、マリンスポーツを柱にした地域活性化のモデルづくりを行う。

2 補正予算額 1億4,600万円

3 主な事業内容

(1) 三浦半島広域観光推進事業費 9,000万円

ア 自転車半島マイルストーン&サイクルステーション整備事業

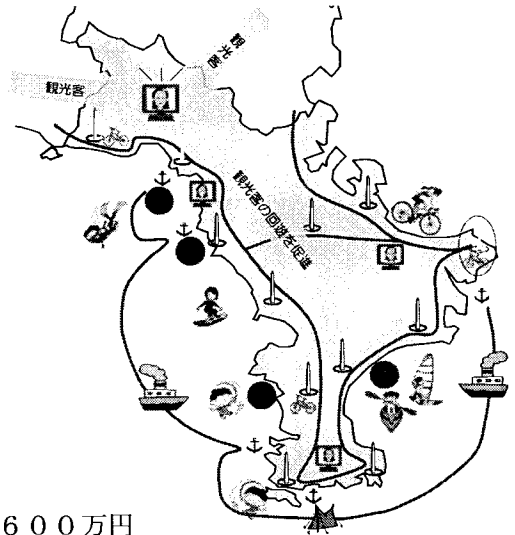
マイルストーン(モニュメント付き案内表示)やサイクルステーション(サイクリスト向け情報拠点)を休憩・ビューポイントに設置する。

イ 三浦半島広域観光情報提供事業

多くの人が集まるターミナルにデジタルサイネージを複数か所設置し、三浦半島全域の観光情報をタイムリーにきめ細かく提供する。

ウ 「三浦半島『海の駅』巡り」実施事業

三浦半島の5か所ある「海の駅」を巡るクルージング及び関連イベントを開催する。



(2) かながわシープロジェクト魅力づくり推進費 2,600万円

- ・ 漁協をはじめとして地元が一体となったダイビングの拠点を整備し、多くのダイバーを呼び込み、地元との交流を図ることにより、ダイビングの新たな仕組みを提案する。
- ・ 子どもからシニアまで、誰でも気軽に参加できる総合的なマリンスポーツの体験拠点となる「ビーチパーク」を整備する。
- ・ マリンスポーツの要素とリラクゼーション(癒し)につながるセラピーを融合させた「ビーチセラピー」のイベントを開催するエリアを設定する。

(3) Feel SHONAN キャンペーン事業費 2,000万円

ア 航空会社×海外メディアコラボレーションキャンペーン

神奈川の海の魅力をアピールするCM(英語版・日本語版)を制作し、航空会社及び海外メディアと連携して、制作したCMを国際線機内や海外のニュース番組内で放映するとともに、機内誌の記事や航空会社HPなどでも情報を発信する。

イ ターミナル駅デジタルサイネージにおける映像放映

制作したCMを、神奈川の海への玄関口となる首都圏ターミナル駅のデジタルサイネージで放映する。

問い合わせ先

政策局自治振興部地域政策課 課長 能勢 電話 045-210-3250